

令和6年度第2回
脱炭素社会に向けた市民会議

循環型稲作への挑戦



株式会社真庭技建
代表取締役 初本 隆浩



初本 隆浩（はつもと たかひろ）

株式会社真庭技建 代表取締役
（農業事業部 勝山の力米Farm 担当）

真庭市勝山町を中心に土木事業、森林事業、農業事業を手掛ける。

- ・ 耕作面積 21ha
- ・ 作物 水稻（コシヒカリ、ヒメノモチ）
- ・ 認定農業者

別記様式第7号（法第19条第5項関係）

岡山県指令美作局農第1-2号
令和6年7月12日

株式会社 真庭技建 殿

美作県民局長



環境負荷低減事業活動実施計画に係る認定通知書

令和6年5月22日付けで申請のあった環境負荷低減事業活動実施計画については、環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律第19条第5項の規定により、認定をします。

認定番号：美作環令6-2号

認定日：令和6年7月12日

認定の有効期間：令和11年7月11日まで

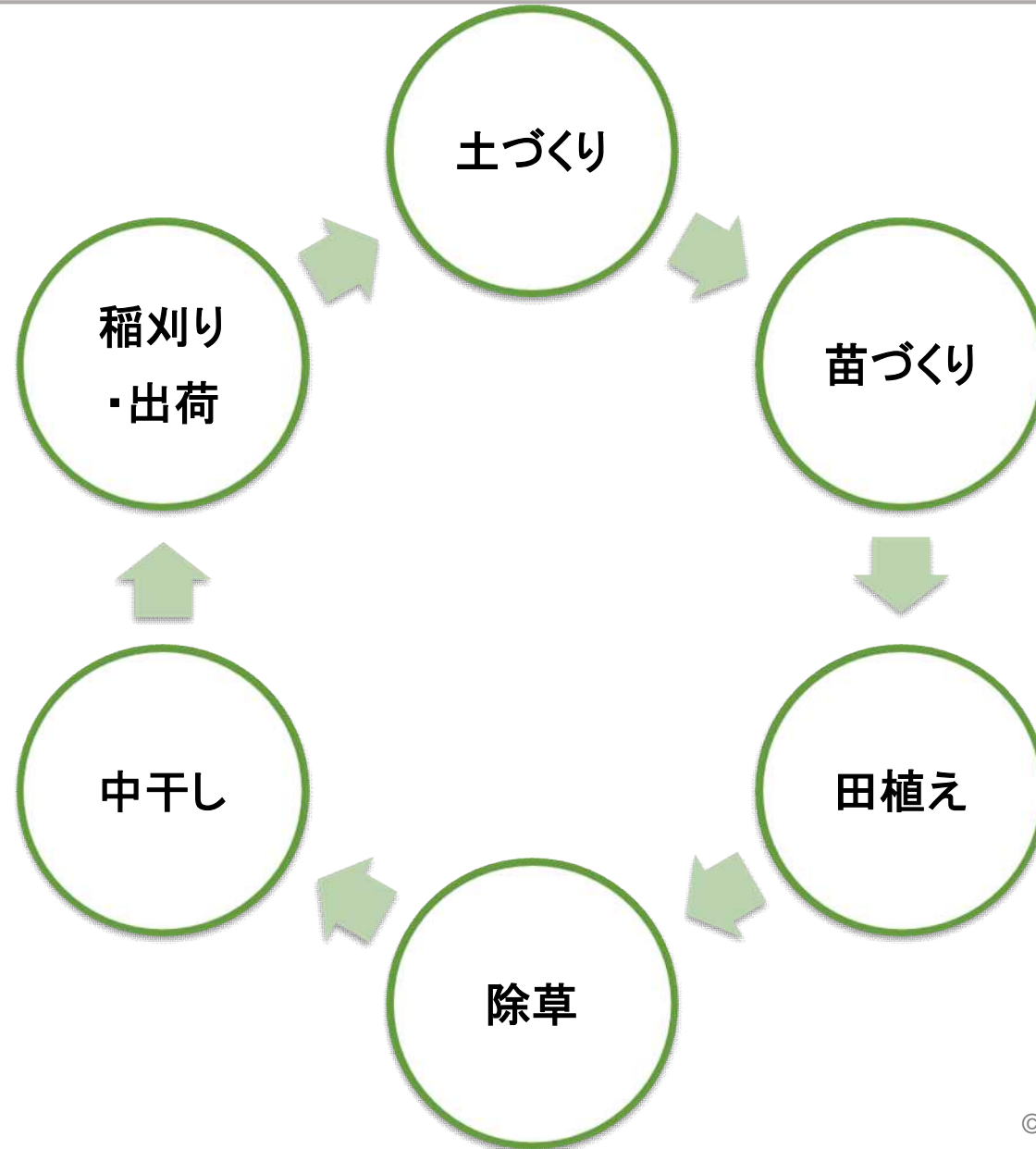
認定に係る関係市町村名：真庭市

みどり認定取得
(バイオ炭の農地施用)

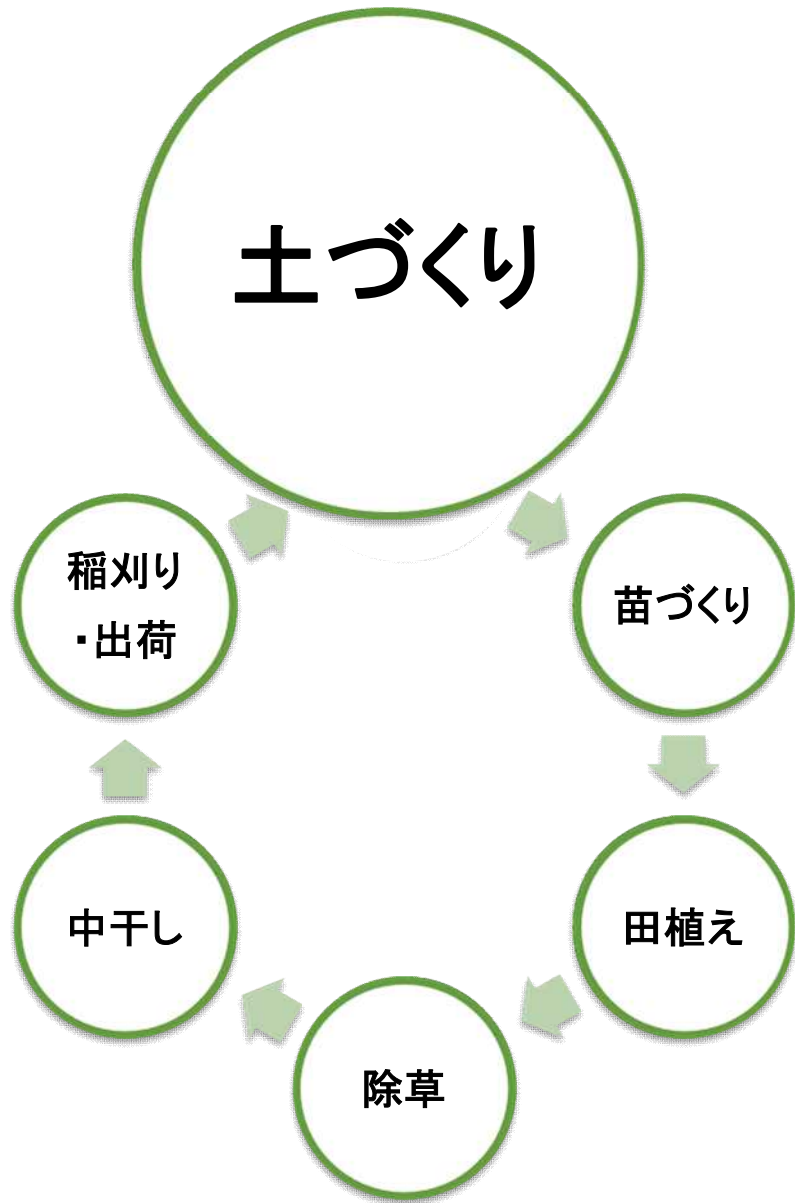
環境に配慮した農業
を行っていることを
県より認定された



循環型稲作の年間スケジュール



土づくり（堆肥と牡蠣殻）

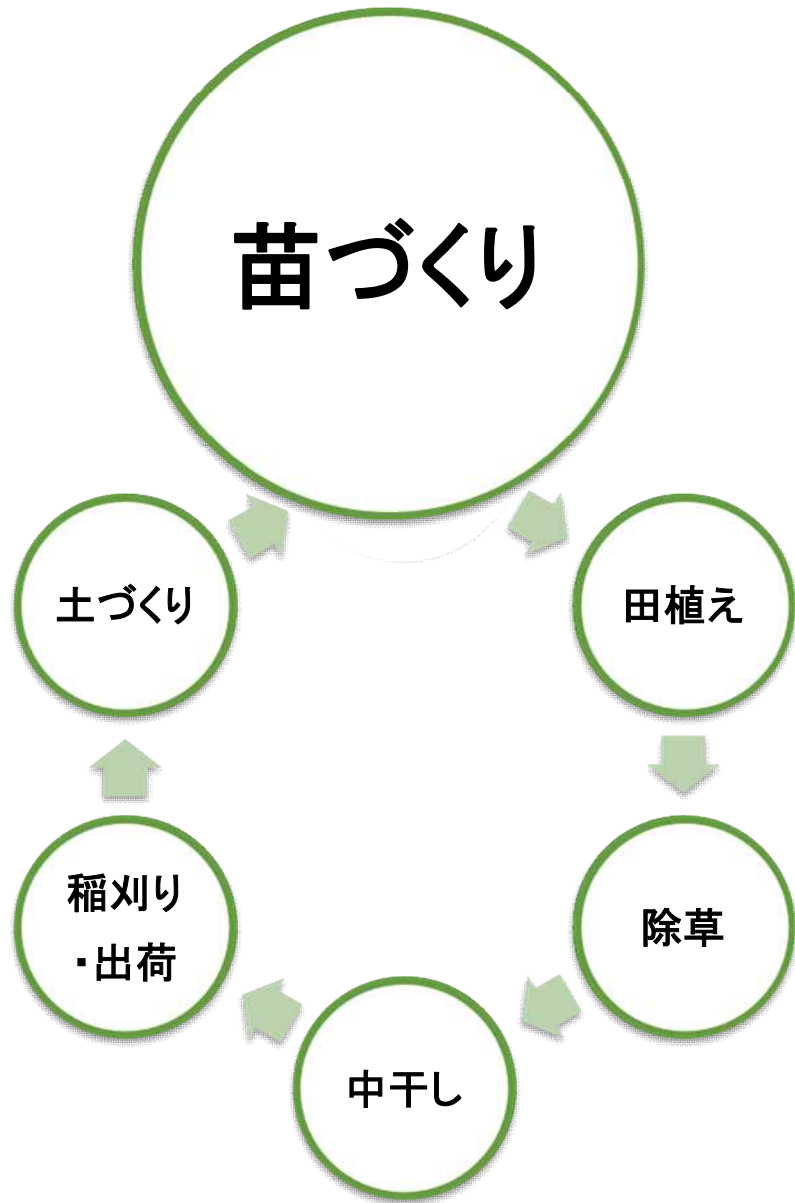


堆肥散布



牡蠣殻散布

苗づくり（もみ殻由来バイオ炭利用）

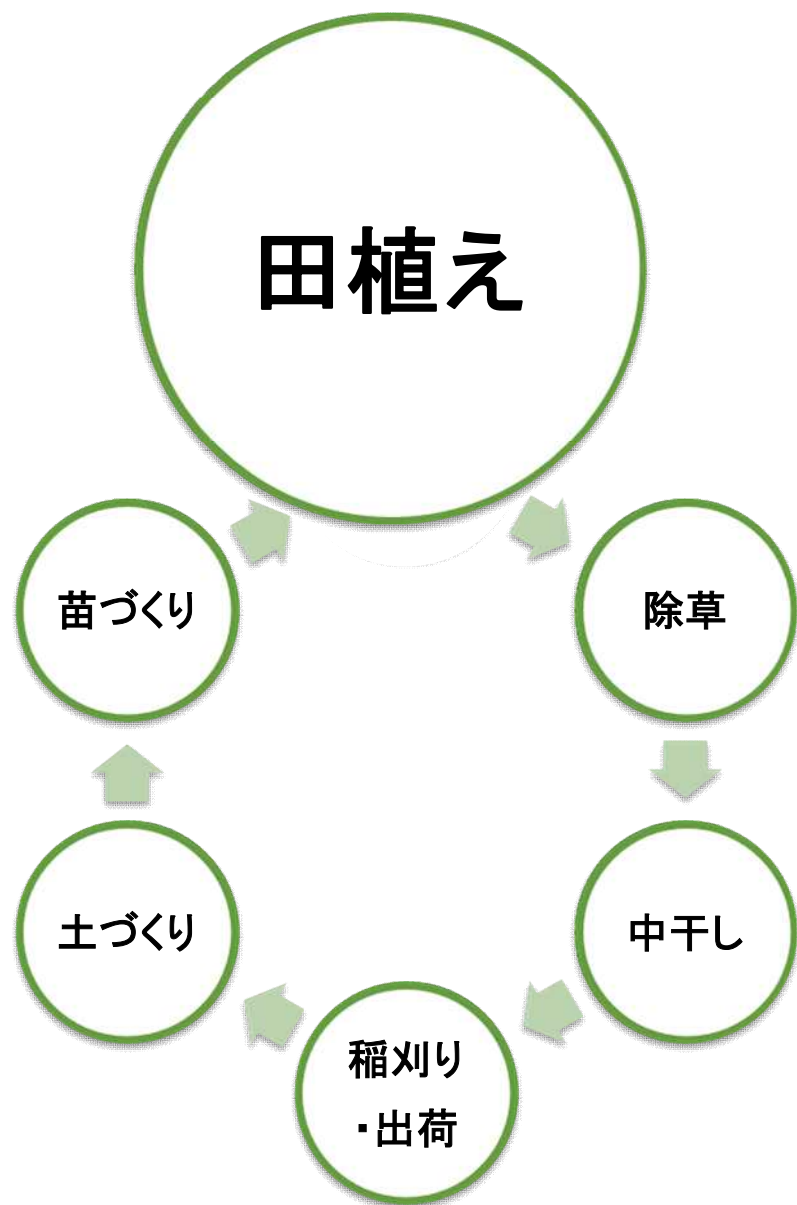


バイオ炭
苗床



苗床

田植え（バイオ炭苗田植え～重量低減による省力化） 勝山のカメ Farm

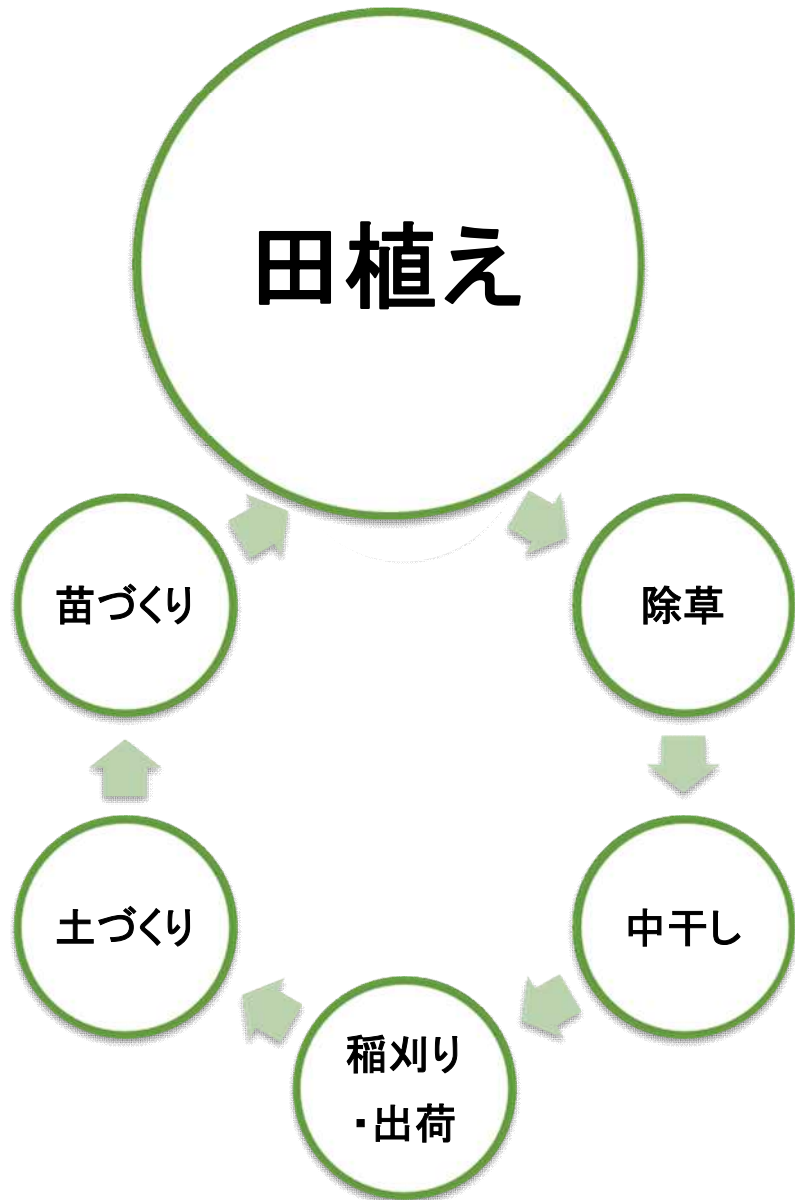


代かき



バイオ炭苗
を田植え

田植え（乾田直播への挑戦～水管理の省力化へ）

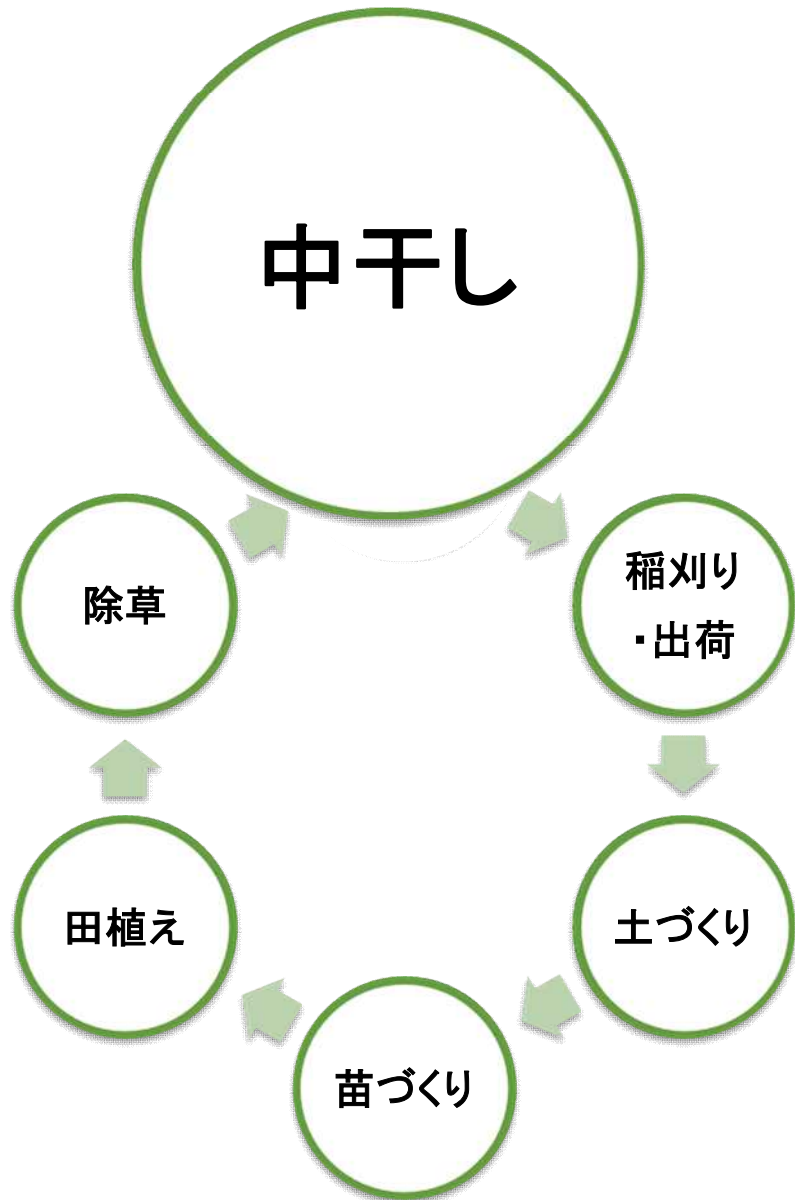


菌根菌を
種もみに散布



乾田直播

中干し（水田中干しの延長によるメタンガス低減）

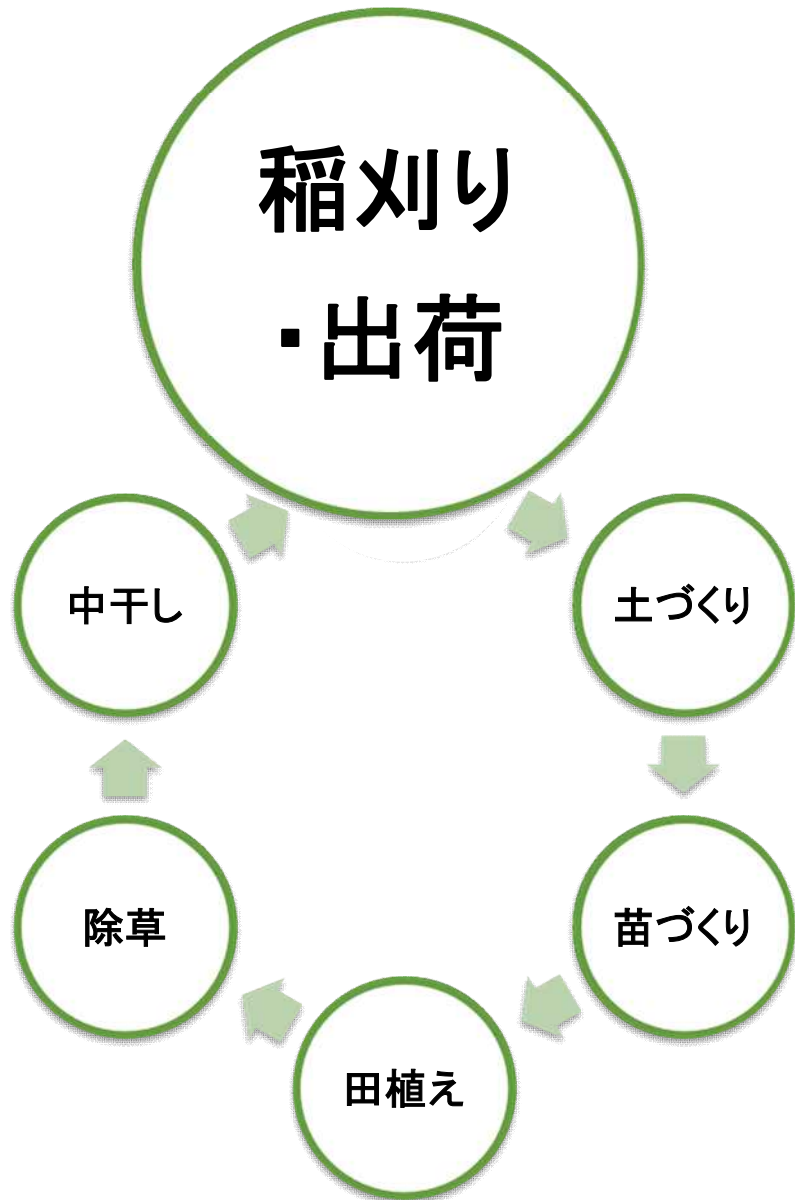


取水口のせき止め



排水口の
せき止め板解除

稲刈り・出荷（粃殻を利用したバイオ炭製造）



稲刈り



もみ殻から
バイオ炭製造

▼ J-クレジット制度とは？



省エネルギー機器の導入や森林経営などの取組による、CO2などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。



環境に配慮した取り組み～Jクレジット～

農業

方法論NO.	方法論
AG-001	牛・豚・ブロイラーへのアミノ酸バランス改善飼料の給餌
AG-002	家畜排せつ物管理方法の変更
AG-003	茶園土壌への硝化抑制剤入り化学肥料又は石灰窒素を含む複合肥料の施肥
AG-004	<u>バイオ炭の農地施用</u>
AG-005	<u>水稻栽培における中干し期間の延長</u>
AG-006	肉用牛へのバイパスアミノ酸の給餌

森林

方法論NO.	方法論
FO-001	<u>森林経営活動</u>
FO-002	植林活動
FO-003 NEW	再造林活動

3つの方法論で取り組み

合計 93t
CO2がクレジット化
(R6予定)



2024年12月12日付 日本農業新聞



ご清聴
誠にありがとうございました

